

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和6年7月4日（木）

### 2 確認箇所

J8及びJ9タンクエリア（図1）

### 3 確認項目

J8及びJ9タンクエリアの状況

### 4 確認結果の概要

J8及びJ9タンクエリアは、3号機の燃料デブリ取り出し関連施設の建設が想定されており、エリア内に設置された溶接型タンクの解体が令和6年度下期から令和7年度末にかけて計画されている。（写真1）

東京電力は、溶接型タンクとしては初めての解体作業となることから、手順等を確認しながら他のタンク解体に向け知見を蓄えていきたいとしている。なお、J8及びJ9タンクはALPS処理水等を貯留しているタンクであり、放射性物質による内壁の汚染はないと想定しているとのことである。

今回は、J8及びJ9タンクエリアの現状について確認した。結果は、以下のとおり。

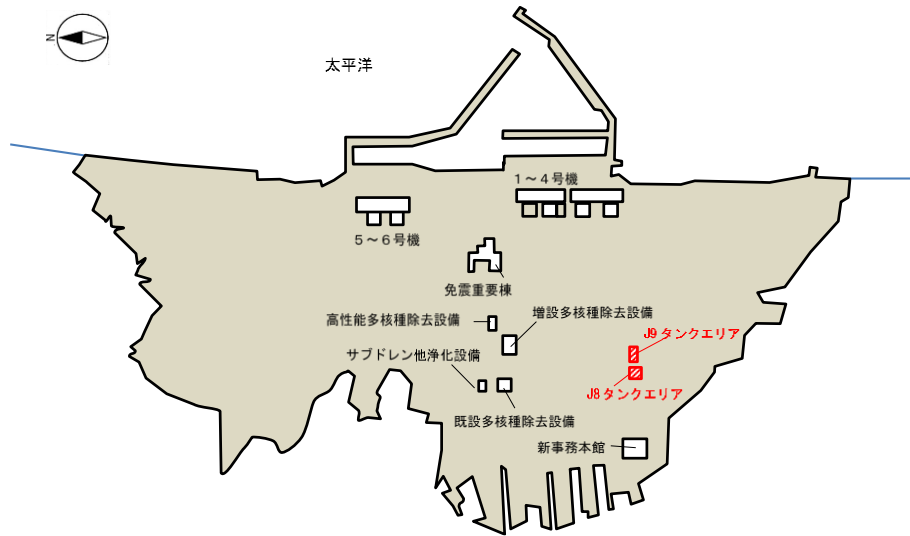
- ・エリア内の連結管は全て「閉」となっていた。（写真2）
- ・堰内の雨水は約1cm程度であり、管理されていた。（写真3）
- ・確認範囲において、処理水等の漏えい、雨水カバーの損傷等の異常はなかった。

#### 《J8タンクエリア》

- ・貯留総量：6,300 m<sup>3</sup>（タンク容量：700 m<sup>3</sup>/基）
- ・タンク基数：9基

#### 《J9タンクエリア》

- ・貯留総量：8,400 m<sup>3</sup>（タンク容量：700 m<sup>3</sup>/基）
- ・タンク基数：12基



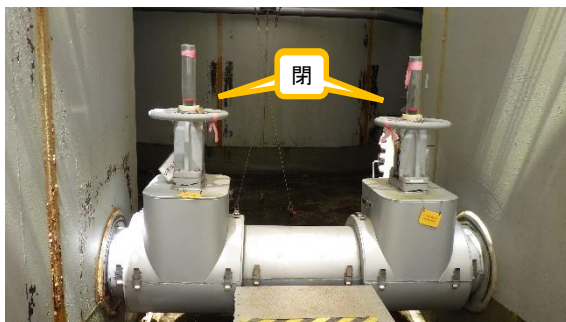
(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



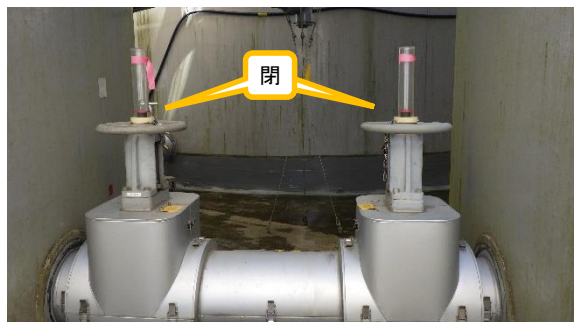
(写真 1 ①) J8 タンクエリア



(写真 1 ②) J9 タンクエリア



(写真 2 ①) J8 タンク連結弁



(写真 2 ②) J9 タンク連結弁



(写真 3 ①) J8 エリア堰内雨水



(写真 3 ②) J9 エリア堰内雨水

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。